



学校教育目標 「自律と貢献の志を持ち 主体的に進路を選択する」生徒の育成
～ 一所懸命が好き！ 夢と志を持ち、輝く私たち ～
校 訓 自主・協同・責任

学校長挨拶 新年度がスタートしました

いよいよ新年度がスタートしました。7日には本校の入学式を行い、さわやかな新入生を迎えました。新年度を迎えるにあたり、新入生、在校生ともに、次の3つの心得を話しました。

①「何事にも全力で挑戦してほしい」

何事（各種検定試験、各種コンクール、そして部活動等）にも積極的にチャレンジしてほしい。努力したことは、合否、入賞の有無に限らず、自分の力として残っていきます。人は、案外成功した時よりもむしろ失敗したときの方をよく覚えているものであり、それ以後の教訓に生かしているものです。その中で、自分自身に対する自信を学び、次への大きな力の糧となるのです。

②「当たり前だが、一生懸命本気でできる人になろう」

卒業して高校に行っても、大人になっても、社会人になっても、通用する当たり前のことです。一つ目は、「時を守る」つまり、時間を守ること。二つ目は、「礼を正す」つまり、本気の挨拶や返事ができ礼儀やルールを守ること。三つ目は「場を清める」つまり、整理整頓、掃除ができるということです。

三次中学校では、これらのことをただ当たり前にするだけでなく、一生懸命、本気でできる人、立派にやり遂げる学校をめざしています。

③「言葉を大切にしてほしい」

言葉には人を感動させる力があります。人間の魂を揺り動かす力があります。

「言葉一つで喜んで、言葉一つで泣かされて、言葉一つでけんかして、言葉一つで仲直り」

たった一言が人の心を傷つけてしまい、たった一言によってその人に生きる勇気と希望を与えるのです。言葉はまるで刃物のように鋭くもあり、生き物のように温かいぬくもりをもつものでもあります。だからこそ私たちは言葉を大切にしたいし、皆さんにも大切にしてもらいたいものです。

本年度も、「市立三次中学校」は地域に支えられ、地域とともに歩み、地域に価値ある学校づくりをめざしてまいります。

保護者の皆様そして地域の皆様には、本校教育への相変わらぬご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

校長 池田 誠

始業式が行われました

4月6日（木）に2・3年生で始業式を行いました。
始業式の前には、就任式が行われました。今年度は、新たに8名の職員が就任しました。新たな職員とともに、生徒が安心して安全に学校生活を送れるように教職員一丸となって取り組みます。よろしくお願いします。



第77回入学式 おめでとうございます！

4月7日（金）に、本校体育館において、令和5年度三次市立三次中学校第77回入学式を挙行了しました。当日は、2・3年生の在校生や多くの来賓の方々をお招きして行いました。

式では、校長先生の挨拶の後、在校生代表として、生徒会長の板垣 潤くんが歓迎の言葉を贈りました。そして、新入生42名の代表として竹下 壮之介くんが誓いの言葉を述べました。

誓いの言葉

桜の花びら舞うやわらかな風に、春の訪れを感じる今日、僕たち、新入生一同は、入学の日を迎えることができました。僕たちは、これから始まる中学校生活への期待に胸をふくらませています。十一月に合同授業や部活動体験をさせていただいてから、中学校生活がますます楽しみになり、この日が来るのをずっと待っていました。

僕たちが体験入学をさせていただいたとき、最初は不安でいっぱいでしたが、先輩方がやさしく話しかけてくださり、安心して活動できたことを覚えています。先輩方のように誰にも優しく声をかけられるように、先輩方を見て教わりたいです。一日でも早く中学校になじめるように頑張ります。小学校六年間で身に付けた力を生かせるように中学校生活に臨んでいきます。

僕は、これからの学校生活で、部活動をとっても楽しみにしています。しかし、勉強と両立させながら頑張らないといけません。だから、先生や先輩方、友達の協力を得ながら、日々の学校生活を有意義なものにしていきたいです。

中学校生活三年間、勉強と部活動を両立させて、仲間と共に一步ずつ進んでいきたいと思います。そして、中学生としての自覚を持ち、全力で取り組んでいくことを誓います。

令和5年 4月7日 新入生代表 竹下 壮之介

全校生徒が一堂に会して行った初めての行事で、思い出に残る良い入学式となりました。

